

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和2年8月20日（木）13：30～14：05
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 森下課長、榎本補佐  
技術基盤グループ技術基盤課 佐々木企画調整官、鈴木補佐、飯田係員  
原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。） 事務局長、他3名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨：
  - 審査経験・実績の反映による規制基準の継続的な改善に関する被規制者側の意見・提案を聴取する会合（本年8月26日開催予定）に向けて、今後の段取り等について確認を行った。
  - 原子力規制庁から、発電用原子炉施設のデジタル安全保護回路に係る共通要因故障対策に関し、事業者の対応状況等の聴取のための公開会合を本年9月下旬目途で実施する予定である旨を伝えた。
  - 原子力規制庁から、第42回技術情報検討会（本年8月19日開催）にて、サンプルスクリーンを通過したデブリが炉心に与える影響に関する米国の対応状況及びこれを踏まえた国内の対応について議論を行った結果、今後国内の事業者の取組状況について情報収集を継続することとなったことから、ATENAを通じた情報収集について別途相談したい旨伝えた。
  - 原子力規制庁から、1相開放故障事象に係る事業者側の対応計画に関しての同技術情報検討会での発言を伝えるとともに、事業者が自ら実施する自主的な安全性向上に向けた取組について、今後、第三者からも確認ができるよう透明性が担保された形で公開会合等を ATENA が自ら開催し、事業者として主体的にフォローアップする仕組みを検討する必要があるのではないかと発言した。ATENA から、持ち帰って検討する旨返答があった。
6. 配付資料：
  - ・審査経験・実績の反映による規制基準の継続的な改善【事業者意見・提案の収集、抽出結果について】（案）

以上